

2026.3.23

第15回 周南市スマートシティ推進協議会

- ▶ 資料1 今年度の市の取組について
- ▶ 資料2 次年度の市の取組について
- ▶ 資料3 周南スマートシティデザインラボについて

資料1

今年度の市の取組について

令和7年度デジタル関連の市の取組 (1 / 2)

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態
 着手済：必要な手続等に着手している状態
 検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
暮らし	1 市公式LINEの拡充	市民が自身の関心に応じて情報を自動で受け取れる仕組みと、関心のある分野をメニューから選択できる機能を備えた市公式LINEを拡充する。さらに、メニューから市ホームページへの誘導も行い、必要な詳細情報にスムーズにアクセスできる環境を整える。	運用中 R8.2～
安心安全	2 防災DXの推進	迅速かつ的確な災害情報等を発信し、市民の安全・安心を確保するため、災害情報システムを構築する。	着手済 R8.4以降運用開始予定
	3 消防指令システムの更新	災害時の状況把握や消防活動の効率化を図るため、消防指令システムの更新を行う。	運用中 R7.11～
行政	4 キャッシュレス決済窓口の拡充	市民の利便性の向上および現金取扱いに係る窓口業務の効率化を図るため、キャッシュレス窓口の拡充と、それに伴う事務フローの見直しを行う。	着手済 R8.4以降運用開始予定
	5 預貯金等電子照会	行政・金融機関双方の負担軽減及び事務処理の効率化のために、預貯金等照会の電子化サービスを利用する。	運用中 R7.4～
	6 クラウド型電子契約サービスの導入	市及び事業者のペーパーレス推進による業務効率化及び経費負担の軽減などを図るため、従来の紙と押印を用いた形式を、電子データおよび電子署名を用いた電子契約サービスに対応できるよう整備する。	運用拡充 R7.10～

令和7年度デジタル関連の市の取組 (2/2)

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態
 着手済：必要な手続等に着手している状態
 検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
観光 交流・ 文化	7 回天記念館の公衆 Wi-Fi整備	展示内容をより深く理解してもらうコンテンツへのアクセスを容易にするため、大津島にある回天記念館のWi-Fiを整備する。	運用中 R7.5～
医療・ 福祉	8 音声文字変換タブ レット端末機器の窓 口設置	窓口に、音声認識文字変換システムを導入したタブレット端末を導入し、聴覚に障害のある方の窓口対応時のコミュニケーションの円滑化を図る。(実証事業)	運用中 R7.10～
学び・ 子育て	9 子育て支援施策情 報発信のサブサイ ト改修	市ホームページや外部サイトに分散することも・子育てに関する情報をサブサイトに集約するとともに、より分かりやすい情報発信に向けて、整備・改修を行う。	運用中 R8.1～
	10 教育支援センターの ICT強化	第三次まちづくり総合計画の推進施策として掲げる「教育支援センターでのICT等を活用した学習支援」が円滑に行えるよう、センターのWi-fi環境の整備など、学校に準じたICT環境整備を行う。	運用中 R7.6～

<参考資料> 市公式LINEの拡充

拡充以前は、イベント情報や広報紙発行などのお知らせを周南市公式LINEアカウントから配信。

令和8年2月3日から、このアカウントに新たな機能を追加し、さらに便利に活用できるようにリニューアルを実施。

○主なりリニューアルの内容

- ①3つのタブでメニューを構成し、知りたい情報へすぐにアクセスすることを可能とした。
- ②これまでの配信内容に加え、防災・子育て・クマの出没情報など、さまざまな情報を配信。受け取りたい情報を設定することを可能とした。



資料2

次年度の市の取組について

令和8年度デジタル関連の市の取組（1 / 2）

※令和8年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

※これまでのデジタル関連の取組の累積数（終了した取組、事務効率化に留まる取組も含む） 95件

分野	取組	概要
安心 安全	1 スターリンクの導入	災害時の孤立集落対策として、通信手段の確保を図るため、衛星インターネット通信機器である「スターリンク」を配備する。
	2 マイナ救急システムの拡充	傷病者の救命率の向上及び予後の改善を図るため、既往歴等の聴取が困難な状況下でも、マイナ保険証から得られる医療情報を活用し、迅速な応急処置と医療機関選定が可能となるよう運用体制を構築する。
医療・ 福祉	3 オンライン診療導入診療所の拡充	医療資源の少ない地域において、地理的な制約を解消し、持続可能な医療提供体制を確保するため、オンライン診療体制を整備する。
	4 福祉医療費助成のマイナンバーカードを活用したデジタル化の推進	マイナ保険証を利用している福祉医療費受給者が、マイナンバーカード1枚で医療機関を受診可能となるための環境を構築する。
学び・ 子育て	5 オンライン問診を活用した5歳児健康診査の開始	5歳児健康診査の工程の一部にオンライン問診を導入し、市民の利便性の向上及び業務の効率化を図る。
	6 生成AI学習アシスタントアプリの導入	学習用に特化した生成AIアプリを導入し、生徒の主体的・対話的な学びの質向上、個別最適な学習支援、学習意欲の向上等を図る。
	7 デジタル採点システムの導入	AI技術を活用したデジタル採点システムを導入し、定期テスト等の採点業務の効率化、評価の公平性向上、生徒個別の答案分析に基づく学習支援の充実を図る。

令和8年度デジタル関連の市の取組 (2/2)

分野	取組	概要
産業	8 周南市中心市街地歩行者等通行量調査・分析業務	AIカメラを使用して中心市街地内の歩行者及び自転車の通行量を計測し、データを収集・蓄積するとともに、市民団体等が行う地域の活性化につながるイベント等の企画立案やその効果検証に役立てる。
観光交流・文化	9 民俗資料展示施設のデジタルミュージアム化	資料館内に設置した説明文に記載した二次元コードからアクセスしてもらうことで、資料の詳細な解説等が入手できる環境を構築。
	10 博物館所蔵資料のデジタル化	博物館資料をデジタル化して保存(デジタルアーカイブ化)し、インターネット等を通じて公開する。
	11 美術博物館オンライン講座の実施	WEB会議サービスを利用し、学芸員などの専門職員によるリアルタイムの解説動画配信を行う。
	12 動物園入園料のキャッシュレス決済導入	来園者の利便性向上および現金取扱に係る窓口業務の効率化を図るためキャッシュレス決済を導入。
行政	13 AI音声を活用した広報紙の音声化	広報紙をAI音声で自動読み上げ可能とするとともに、多言語表示に対応することで、視覚障がい者や高齢者、在住外国人など多様な市民が市政情報へアクセスしやすい環境を構築する。
	14 訪問調査タブレットの導入	訪問調査管理システムとタブレット端末の導入により、調査員の経験差を平準化し、安定した調査業務が行える体制を整え、業務効率化と調査票作成の迅速化を通じ、申請件数増加に対応する。

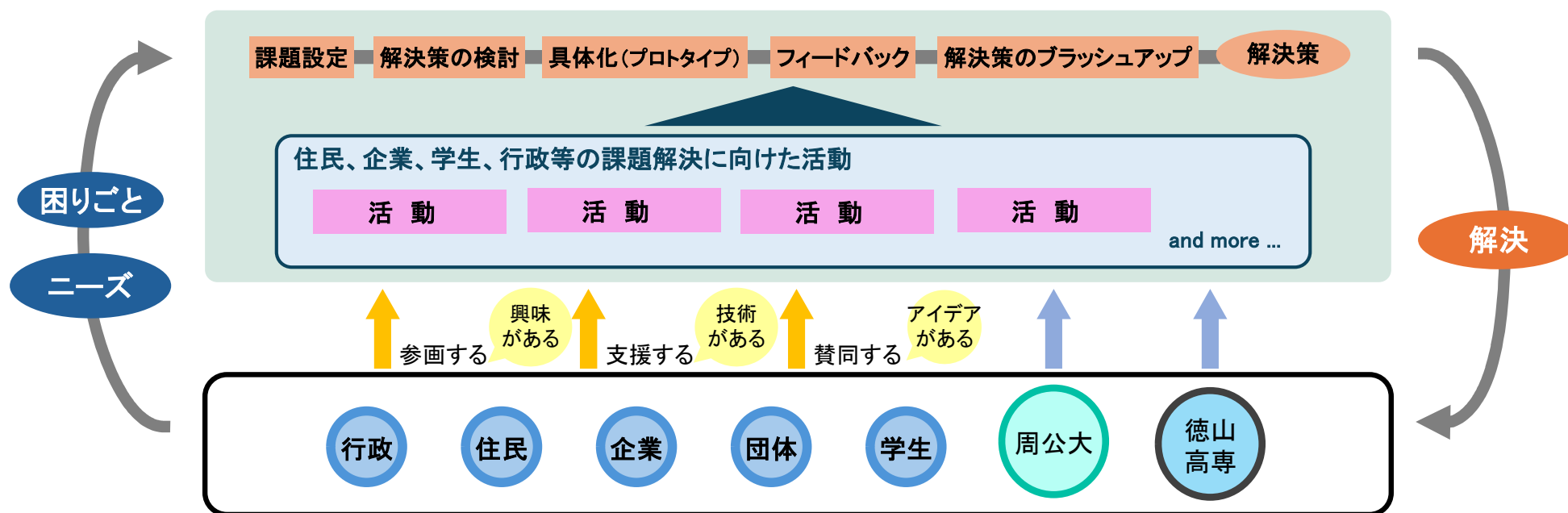
資料3

周南スマートシティデザインラボについて

周南スマートシティデザインラボが目指す姿

この仕組みが目指す姿は、**継続的な課題解決に取り組むためのプラットフォーム**

➡課題を持つ人、アイデアを持つ人、技術を持つ人、動ける人、お金を出せる人などの**多様な主体がオープンな場**に集まり、**利用者目線で全体を俯瞰しながら課題解決を図るプラットフォーム**



これまでのアプローチ

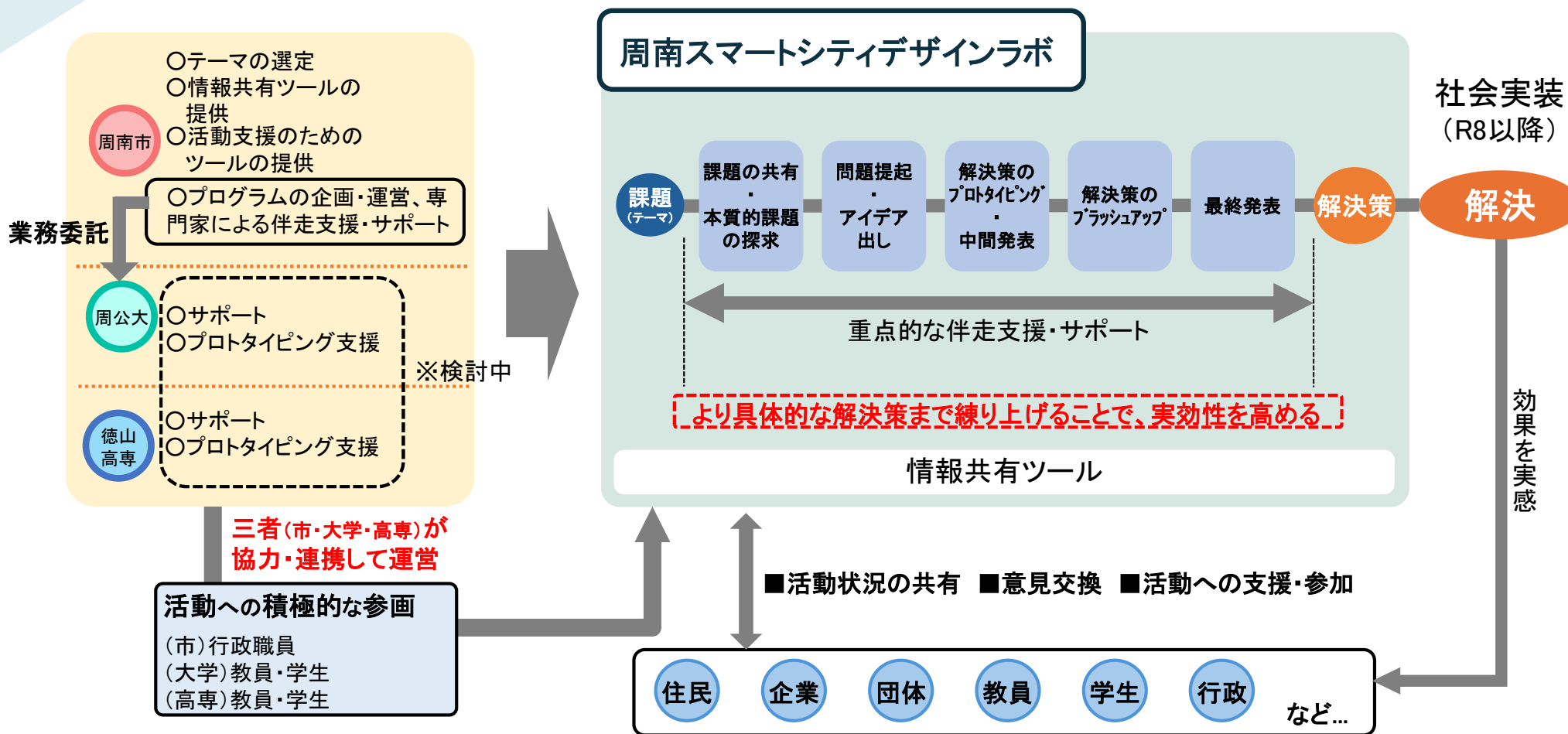
- ▶ 小さくて細かい課題が置き去り
- ▶ 個別最適にとどまり不十分な解決になる

想定される変化

- ▶ 小さくて細かい課題から分野をまたぐ複雑な課題までアプローチ可能になる
- ▶ 課題により適した解決策が得られやすくなる
- ▶ 活動を通して、新しいコミュニティやネットワークが構築される
- ▶ 成功体験を積むことにより、行動変容が起き、自ら考え行動する人が増える
- ▶ まちづくりに参画することで、まちへの愛着等の醸成につながる

周南スマートシティデザインラボの実装(令和7年度)

集中的に伴走支援・サポートを受けられる体制を構築して、**1年間で**課題解決までの一連のサイクルをまわして、**令和8年度以降に社会実装が狙える解像度まで解決策をブラッシュアップ**する。



周南スマートシティデザインラボ 実施状況

最終発表会（第5回プログラム）

- 開催日 令和8年2月18日（水）
- 開催場所 周南市役所多目的室
- 実施内容 最終発表
アイデアの振り返り



SHUNAN_SC.DESIGN.LAB



周南スマートシティデザインラボ
Instagram

各テーマの概要と解決策について

テーマ	概要	解決策
旧市長公舎の有効活用	旧市長公舎は平成31年4月に市長公舎としての行政用途を廃止しており、普通財産として管理している。令和6年度より多くの方に旧市長公舎を知っていただき、親しんでいただくために1日を午前、午後、夜間の時間帯で貸し付ける制度を整えた。旧市長公舎を有効的に活用できる方法を検討したい。	<ul style="list-style-type: none">・建物の価値を高める(ターゲットに合った価値の届け方)・手続きの簡略化(IT技術の活用)
ウォーカブルで憩える徳山駅周辺	徳山駅周辺におけるウォーカブルなまちづくり(居心地が良く歩きたくなる空間形成)を実現するための効果的な施策を展開したい。	商店街の空きテナントにプロトタイプングラボを開設し、定期イベントを開催
公園の利活用促進	公園の清掃・除草等の維持管理は、自治会や利用団体により結成された公園愛護会をはじめとする地域の皆さまの協力を得て行われている。しかしながら、少子高齢化や人口の減少、社会情勢の変化の影響もあり、公園の環境保全に携わる担い手が減少しているとともに、利用されない公園が出てきている。	誰もが管理者であり利用者で運営者でもある色々な立場を通じて公園をつかっていく。

旧市長公舎の有効活用に向けた解決策

1. 建物の価値を高める(ターゲットに合った価値の届け方)

どんな価値を	誰に	どんな方法で
落ち着いた空間	大学生	学内サークルへの売り込み
大正浪漫	人生の節目を迎える人	・SNS ・チラシ
歴史的的重要性	施設見学者	・各種パンフレットへの二次元コード記載 ・ボランティアガイド

2. 手続きの簡略化(IT技術の活用)

○市役所における施設の鍵の貸し出し手続きを簡素化する方法
➢IT化 (例)スマートロック

○貸付にかかる注意事項が長いことによるわずらわしさを解消する方法
➢(例)旧市長公舎の貸付資料を読み込ませたAIに質問すると回答が返ってくるサービス

ウォークアブルで憩える徳山駅周辺に向けた解決策

商店街の空きテナントにプロトタイピングラボの2拠点目を開設し、そこを利用した周南公立大学生主体の定期イベントを開催する。

- ・テナントの活用頻度を増やせる
- ・プロトタイピングラボのスタッフを人員として確保できる
- ・プロトタイピングラボから、子供向けのものづくりの設備やノウハウを提供してもらえる

■プロトタイピングラボとは

周南公立大学内に設置され、同経済経営学部地域イノベーションセンターの機能の1つとして、ものづくりやデジタル技術の専門家と連携しアイデアを形にし、ビジネス化を目指す機会を提供することを目的に設置された組織

公園の利活用促進に向けた解決策

■親子から安心感を波及させる

子どもを安心して遊ばせることができる公園であれば、それ以外の人も安心して使うことができる。月に一度の「遊び場」を継続し、清掃活動や点検を通じて、安心できる公園を提供する

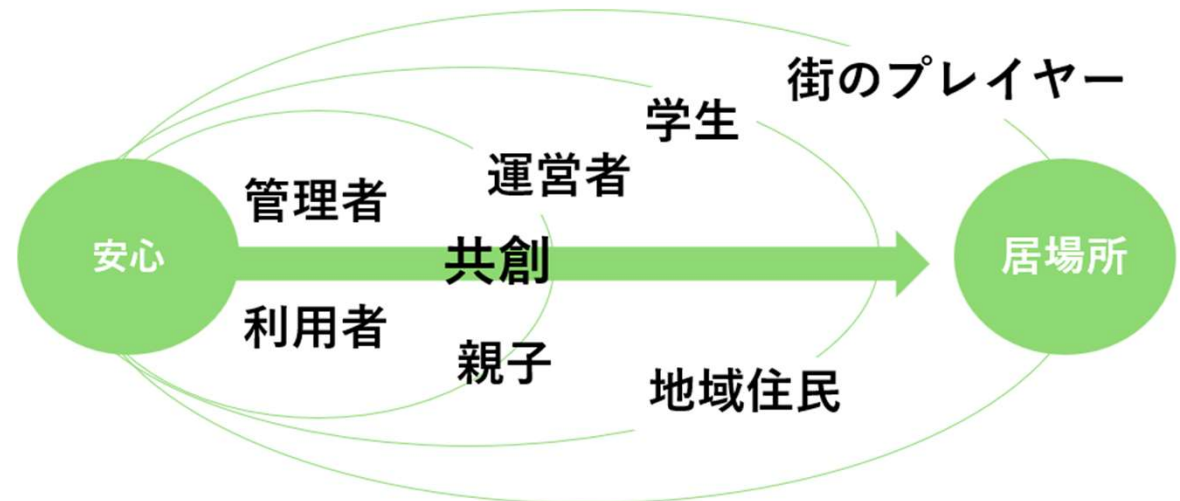
■誰もが関われる施設

管理者と利用者の二分構造ではなく、親子に向けた「遊び場」の提供を通じて地域住民や学生、街のプレイヤーを巻き込み、誰かが負担する公園づくりではなくみんなで公園を楽しく活用していく。

■公園を居場所にする

上記の活動を継続し、安心できる公園として認知を広げ、活動の中での関わりから、公園に居場所をつくる

誰もが管理者であり利用者で運営者でもある
色々な立場を通じて公園をつかっていく
⇒安心感の醸成⇒みんなの居場所へ

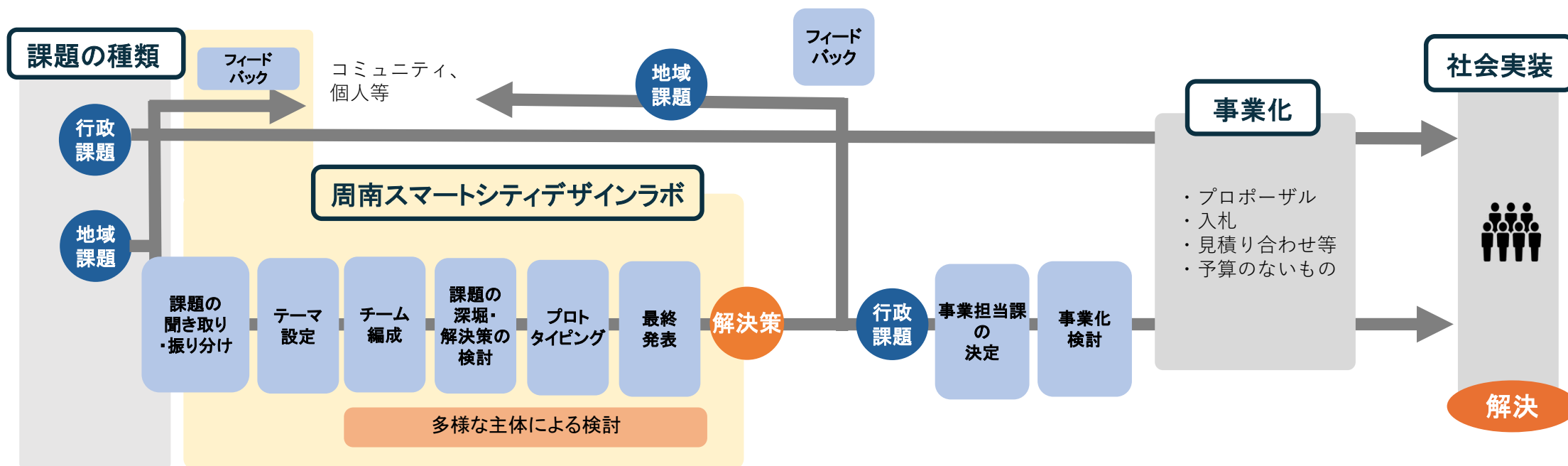


周南スマートシティデザインラボで検証すること

- 中間発表会、最終発表会で発表された成果は、ユーザーにとっての価値が示され、将来の社会実装や課題解決を見据えた内容になっているか。
- プログラムのプロセスに市民を適時巻き込み、各チームの提案に対してフィードバックいただくことでデザラボへの共感・理解を得ることができたか。
(フィードバックはインタビューなどの質的調査、アンケートなどの量的調査の両側面から得ることを想定)
- デザインラボについて市民に情報発信を行い、ライトな関わりしろをつくることで、市民がデザラボを知る機会を設けることができたか。
- 活動主体の一員として参画したメンバーが、課題を解決したいモチベーションを持ち、自身だけでなく知人の参画を促したいと感じたか。

令和8年度の周南スマートシティデザインラボ

将来の運用を見据え、**行政課題のみならず地域課題を含む幅広い課題の中から**取り組むテーマを選定し、**解決策検討のサイクル**を回す。



◆令和7年度からの変更点

1. 行政が挙げる課題のみならず、地域からも幅広く課題を集める
2. テーマ設定を重要視したプログラム構成(課題ホルダー向け研修の実施等)

令和8年度の周南スマートシティデザインラボで 取り組む予定の課題

課題(仮称)	概要
①若者の定着 [行政課題]	周南市に現在いる若者(高校生、徳山高専生、周南公立大学生等)が周南市に定着するために必要な施策の検討
②検討中	—

デザインラボで取り扱うテーマは、上記の課題を基にプログラムで設定します。